



まる

～ STOP！特殊詐欺 ～

○っとあいち・絆プロジェクト (だましの手口 オレオレ詐欺編)

最近でも、「カバンを無くした」という電話からスタートする典型的なオレオレ詐欺の前兆電話があります。以前ご紹介した手口をもう「総集編」で再編集しましたが、総集編も今回が最終回です。

下線は、この手口のキーワードです。もう一度確認していただき、家族で、地域でご注意ください！！

実録

だましの手口 ～ オレオレ詐欺総集編 最終回～

第5回(同僚が取りに行く)

息子の太郎を騙る男から、とにかく200万円を準備して欲しいと言われ、自宅にある現金を準備していたところに、また太郎を騙る男から電話が入りました。

男：「お母さん？200万円は準備できそう？」

Aさん：「大丈夫。家に置いてあった現金を集めたら200万円あったよ。」

男：「ありがとう。本当は自分を取りに行きたいけど、今、カバンを返してもらおう手続きをされていて、どうしても本人が手続きしないとダメなんだ。かなり時間がかかりそうで……。でもお金はすぐに必要なんだ。それで、今一緒に居る会社の上司に相談したら近くで営業してた同僚のスズキが取りに行ってくれることになったから、スズキにお金を預けてもらえないかな？」

Aさん：「そうかい。でも大金だし、ちゃんと顔を見て渡したいけど。なんとかならないかい？」

男：「行きたいけどダメなんだ。とにかく時間がないんだ。手続き終わったら必ずお礼に行くよ。」

Aさん：「仕方ないね。じゃあ家で待ってればいいんだね。」

第6回(現金の手渡し)

電話を切ったAさんが自宅で待っていると、玄関のチャイムが鳴り、若い男が立っていました。

Aさん：「あなたがスズキさんですか？」

スズキ：「はい。この電話に出てください。」

スズキはそう言って、持っていた携帯電話を差し出しました。

男：「もしもし、お母さん？そこにいるのがスズキだから準備した現金を渡してあげて。スズキは事情をよく知らないし、心配するから詳しい話はしないでくれる。」

Aさん：「わかったよ。太郎の体も心配だから一緒に缶詰も入れておくれ。しっかり食べるんだよ」

男：「ありがとう。スズキに電話代わって」

Aさんは、携帯電話をスズキに渡したあと、現金200万円と缶詰を入れた紙袋をスズキに手渡ししてしまいました。

スズキは足早にその場を離れ、Aさんは一息ついたその日の夜、電話の横にあるメモ帳に控えていた「太郎」の電話番号に電話しました。

電話に出た太郎は、元気な声で、カバンも無くしていないことがわかり、その時はじめて「だまされてしまった」ことに気が付いたのでした。(おわり)